

提 言

医療崩壊といわれる厳しい環境の中で、わが国の医師は国民の生命と健康を、そして地域医療を守るために、献身的な努力を続けてきました。

京都府医師会勤務医部会では、勤務医、女性医師を取り巻く諸問題について、この二年間検討を重ね、「勤務医の労働環境等に関する緊急意識調査」集計結果として取りまとめました。

これまで、日本医師会、京都府医師会は、勤務医問題に積極的に取り組んできたとは言い難く、全医師の6割を占める勤務医の期待に応えてきたとはいえません。一方で、勤務医自身も積極的に医師会活動に参画してこなかったのも事実です。

地域医療を守り、良質な医療を提供するために、われわれ勤務医は高い倫理感と使命感をもち、開業医をはじめすべての医療者と協働していく決意です。

以下に勤務医部会から京都府医師会に対する提言を掲げます。これをもとに、京都府医師会、さらに日本医師会を改革し、すべての医師が団結して医療を取り巻く諸問題に臨むことを願うものです。

- 一、京都府医師会、日本医師会をすべての医師が大同団結できる体制にするとともに、勤務医、女性医師の意見が反映される組織にすること。
- 一、勤務医、女性医師問題に真摯に、かつ積極的に取り組み、医師が安心して診療に専念でき、働き続けられる環境整備につとめること。
- 一、地域連携、病・診連携を推進し、住民とともに地域のよりよい医療体制を築いていく努力を続けること。

平成22年3月6日

平成21年度（第26回）勤務医部会総会